

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもセンターひかりの子		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日		～ 2025年 12月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	昨年いただいたご意見をもとに、参観日、保護者交流会を実施いたしました。	日頃の様子を見ていただくために、ご希望の方は別室でリモートでの参観を実施いたしました。遊びの時間に、日頃クラスに入っている職員を中心に保護者の方と情報共有を行いました。	好評であったため、年間で計画を立て、毎年実施していく計画をしております。
2	児童発達支援計画をもとに、3カ月目標を設定し、スモールステップで支援を展開しております。	3カ月ごとに達成状況を現場スタッフと確認して、再アセスメントを行っています。毎回記録に明示し、保護者の方と共有させていただいています。	目標を変更した場合には、下線を引く等してわかりやすくしております。
3	ミーティングを設定し、一人ひとりの様子を情報共有する時間を支援前後で毎日確保しています。	日々の様子を5領域に分類しながら情報共有をし、記録に残すことで統一した支援ができるように努めています。	支援前のミーティングは送迎のある職員の参加が難しいので、送迎から戻った時に確認できる時間を確保していきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動プログラムの立案が進行係り任せになることがある	プログラムの内容が月や週単位で決まっているだけでなく、具体的に話し合って準備をする時間を確保することが難しい	可能な限りプログラムの立案や準備をチームで行えるように時間を見つけて話し合ったり、準備物の用意を協力して行っていく
2	外部の講演会の案内の発信が不足している	外部の講演会の案内は玄関の掲示板に掲示してあるが、目立ちにくく、送迎を利用している保護者の方への周知が難しい	外部の講演会の案内をわかりやすく掲示したり、チラシの配布を積極的に行っていく
3	地域の幼稚園、保育園、こども園等と交流する機会が少ない	併行通園しているお子さんも多く、事業所内での活動(小集団で個々の発達に合わせた取り組み)を重視している	直接的な交流は困難な面もあるが、引き続き公園や散歩などで地域の人との交流につなげたり、身近な地域資源を積極的に利用していく。